

予算要求課	市民保健部 医療課	内線	2802
-------	-----------	----	------

金額の単位は、千円

款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	4	地域医療対策費
事業名	41400	休日診療事業費						

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		16,563	18,163	1,600	16,993	備品購入費の増	16,993	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他(手数料等)	12,465	13,315	850	13,507		13,507	
	一般財源	4,098	4,848	750	3,486		3,486	

<b>事業の目的</b>			
1次救急医療確保の一環として、休日(日・祝・年末年始)の医科・歯科診療所を開設し、地域医療体制の充実を図る			
<b>事業実施の課題</b>			
医療スタッフの確保、患者数増による医薬材料費の増額、医療機器の更新			
<b>事業概要</b>			
1次救急医療確保の一環として、休日(日・祝・年末年始)の医科・歯科診療所を開設			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
述べ患者数(医科・歯科)(人)	1,693	1,500	1,600
<b>成果</b>			
休日の救急救命センター患者の減			
<b>要求額増減理由</b>			
備品購入、医薬材料費の増			

<b>①総合計画</b>		
(2)「やさしさ」のあるまちをめざして		
健康・保健・医療		
(2)いつでも安心して医療が受けられる環境を整備する		
②救急医療体制の整備		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
2「やさしさ」のあるまちをめざして		
(5)健康・保健・医療		
○ソフト		
休日診療事業		
<b>③事業評価</b>		
事業名		今後の方向性
評価区分		
コスト・成果ポジション	コスト	成果
実施方針		
<b>④市長の約束</b>		

予算要求課	市民保健部 医療課	内線	2802
-------	-----------	----	------

金額の単位は、千円

款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	4	地域医療対策費
事業名	41410	地域医療対策事業費						

新規	継続	拡大	縮小
		○	

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		210,781	220,868	10,087	220,949	医療施設整備事業の拡充による増 中高生へのキャリア講座開催による増	220,949	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他(受託事業収入他)	22,948	23,376	428	22,733		22,733	
一般財源	187,833	197,492	9,659	198,216	198,216			

<b>事業の目的</b>				
市民が安心して医療を受けられるため、医師や救急医療体制の確保、医療設備整備、医療現場の負担軽減等に取り組む。				
<b>事業実施の課題</b>				
恒常的な地域医療スタッフの確保、医療機関の適切な利用の啓発				
<b>事業概要</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>救急医療施設運営費等補助金</li> <li>医師確保等支援事業補助金</li> <li>地域医療周知啓発事業他</li> </ul>				
	計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
補助金申請件数(件)		15	16	17
<b>成果</b>				
市民が安心して医療を受けられる医療体制及び救急医療体制の確保と充実				
<b>要求額増減理由</b>				
医師確保等支援事業補助金(病院設備等補助金)の拡充				

<b>①総合計画</b>		
(2)「やさしさ」のあるまちをめざして		
健康・保健・医療		
(2)いつでも安心して医療を受けられる環境を整備する		
①地域医療体制の充実 ②救急医療体制の充実		
<b>②実施計画・中期財政計画</b>		
2「やさしさ」のあるまちをめざして		
(5)健康・保健・医療		
ソフト、ハード		
医師確保等支援事業 救急医療体制整備事業、医療施設整備事業		
<b>③事業評価</b>		
事業名	医師確保等支援事業・医療施設等整備事業・救急医療体制整備事業	今後の方向性
評価区分	Ⅲ	医師の確保は市民の生命を守り、安心を確保するため必要不可欠な事業であり、中核病院における設備・機器の整備は市民が安心して医療を受けられる環境整備のため、また、医師の疲弊解消・医師確保の面からも必要である。今年度の改善ポイントの成果等を検証し更なる効果的な支援について継続的に検討していく必要がある。休日及び夜間の救急医療についてもさまざまな緊急性を重視し啓発も併せて継続する必要がある。
コスト・成果ポジション	コスト 高 成果 高	
実施方針	「Ⅱ」以上の水準に向けた改善が必要	
<b>④市長の約束</b>		
地域医療を充実させるため、医療機関への支援額を増額します。		
地域から医師を志す若者を支援するため、医師等養成奨学金制度を新設します。		
産婦人科医師の招へいも含め、周産期医療の拡充を行います。		